

## 論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2742 号	氏名	小橋 京子
論文審査担当者	主査 循環器内科学 小林 洋一 教授 副査 呼吸器・アレルギー内科学 相良 博典 教授 副査 微生物学 田中 和生 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>腹部大動脈瘤(AAA)に対するインクレチン、及び DPP-4 阻害薬 (DPP4i)の効果をマウスモデルで調べた。</p> <p>高脂肪高食塩食で飼育した ApoE 欠損マウスを①生理食塩水、②アンギオテンシン II (AII)、③ AII+ Glucagon-like peptide-1 (GLP-1)、④ AII+ Glucose-dependent insulinotropic polypeptide (GIP)、⑤AII+ DPP4i に分け AAA および動脈硬化への効果を評価した。</p> <p>DPP4i は AAA の発症率を AII 群単独より約 30%低下させ、AAA サイズ、線維化面積を有意に抑制した。しかし動脈硬化に対しては有意な抑制を認めなかった。DPP4i にインクレチン受容体アンタゴニストを併用しても、AAA への効果は維持された。また DPP4i は有意に炎症惹起するインターロイキン 1 を低下させ、TIMP-2 を増加、MMP-9 も低下させる傾向を示した。DPP4i は AII 誘発性 AAA の発症と進展をインクレチン非依存性に抑制する効果を有することが示されたことを明らかにした本論文は、学術的な価値があり、学位論文に相当すると判断した。</p> <p>題 名</p> <p>A Dipeptidyl Peptidase-4 inhibitor but not incretins suppresses the progression of abdominal aorta aneurysms in angiotensin II-infused apolipoprotein-E null mice          (Dpp-4 阻害薬はアポ E 欠損マウスモデルにおいてインクレチン非依存的にアンギオテンシン II 誘発性の腹部大動脈瘤の発症と進展を抑制する)</p> <p>掲載雑誌名 Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 2015 年 掲載</p>			

(主査が記載、500 字以内)